

ボクからあなたへ

10

の

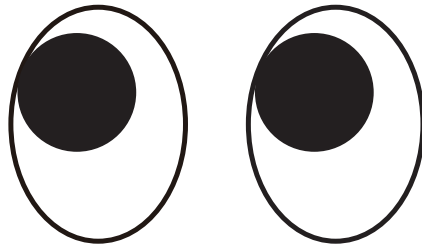
ねがい

- Hope -

いこボ

るこク

よ。には



Here [♥]i am.



ボクは、^い生きたい。

「ボクここ」は

^{ぎゃくたい} 虐待、^{いき} 遺棄、^{しいくほうき} 飼育放棄など、^{どうぶつ} 動物への^{みがって} 身勝手な^{おこな} 行いのない

^{しゃかい} 社会を^{ねが} 願う^{どうぶつ} 動物たちの^{ことば} 言葉です。

あなたといる^{ぶん}1分^{びょう}1秒が
あなたが笑^{わら}っていることが
あなたに愛^{あい}されることが
ボクのしあわせの真^まん中^{なか}。
あなたがボクのしあわせ。





動物たちが、わたしたちに求めていることなんて
わたしたち人間が、彼らに求めることに比べたら
ほんのわずかです。

『ボクからあなたへ 10のねがい -Hope-』は
どうぶつたちからかいぬしとなるひとに向けた
おたがいにしあわせに暮らすためのたいせつなおねがいであり
「犬の十戒」がベースになっています。
わたしたちは、10のねがいを、こどもたちにもちゃんと伝えるように
かんたんなことばでアレンジしました。
ペットを飼っているひと、これから飼おうとおもっているひと
ママやパパ、こどもたち、できるだけたくさんのひとに
ねがいの内容をじっくりと読んでもらえたら……。
そして、ずっとずっと、心にきざんでほしい。そうおもっています。
いつの日にか、「ねがい」から「きぼう」へ
そして、「ふつう」になることを信じて。



1

おお大きさもおも重さもおなじなのに

ボクの”いのち”は

あなたよりも

ずっとずっとみじか短いんだ。

ボクにとってイチバンつらいのは
あなたとはなれること。

もう、ひとりぼっちになりたくない。

だから、どうか、おねがい…

ぶん1分でもびょう1秒でもなが長く

ボクといっしょにいてね。



2

あのね

ボクはあなたがのぞむような

いい子こになりたいんだ。

だから、すこし時間じかんはかかるけど

ボクができるようになるまで

まってほしいんだ。

でね、できたときは

いっぱい、いっぱい、ほめてほしいな。



3

あなたには^{たの}楽しいことがあるし
お友^{とも}だちもいるけど
ボクには
あなたしかいないんだ。



だから、あなたに^{おこ}怒られたり
無視^{むし}されるのは、すごくかなしいし
朝^{あさ}から夜^{よる}までお留守番^{るすばん}したり
せまいところでまってるのは
つらいんだ。



4

あなたのコトバはわからないけど
あなたのきもち^{とど}は、ちゃんと届^{とど}いているよ。



^{こえ}声をきいただけで、あなたが、よろこんでいるのも
かなしんでいるのも、ぜんぶわかるんだ。
あなたのきもち、ちゃんと伝^{つた}わるから
だから、ボクにいっぱい話^{はな}しかけてね。

5

あなたに^{しん}信じてもらえたら
それだけで、ボクは、^{しあわせ}。しあわせ。
それだけで、ずっと、^{がんばれる}。がんばれる。

「マテ！」っていわれたら
^{だいす}大好きなごはんもガマンするよ。
あなたがいやがることもしない。
だって、あなたに^{しん}信じてほしいから。



風になった「ちょこ」





ホントは、水、キライなんですけど...



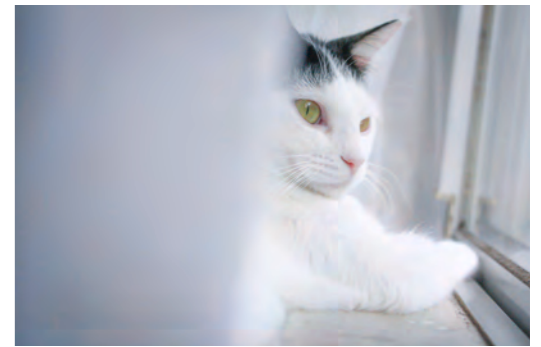
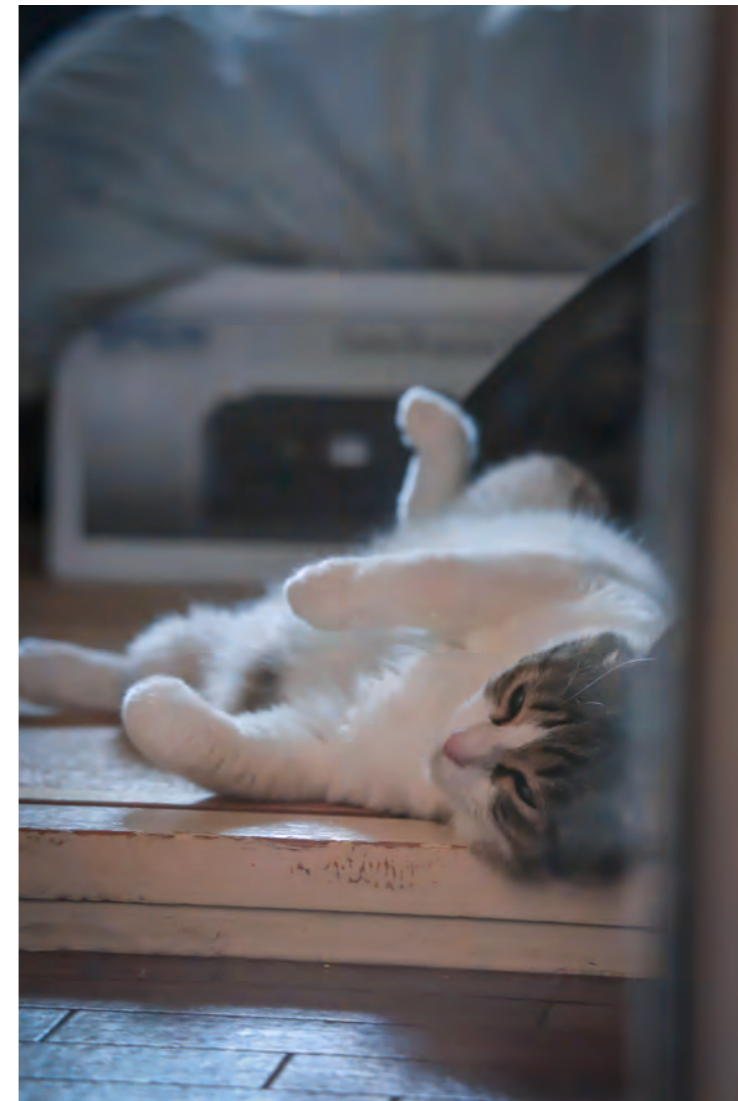
元保護犬の幸せ③「風」



かけがえのない「家族」に出会った保護犬たち

Rescue dogs





かけがえのない「家族」に出会った保護猫たち

Rescue cats







こちら002 (ゼロゼロニャン)、ターゲットを確認!

6

あなたがしてくれたこと
あなたとの^{おも}思いでを
ボクは、ぜんぶおぼえているよ。

あなたは、^{わす}忘れてるかもしれない。
だから、ときどきでいい。
ボクにイジワルしていないかどうか
ちゃんと、かんがえてみてね。

7

ボクには、**あなたがすべて。**
だから、ボクは、**ぜったい**
あなたを**傷**^{きず}**つけたりしないよ。**

でも、^し知っておいてほしいんだ。
ホントは、ボク
あなたよりもチカラがつよい
かもしれないってことを。

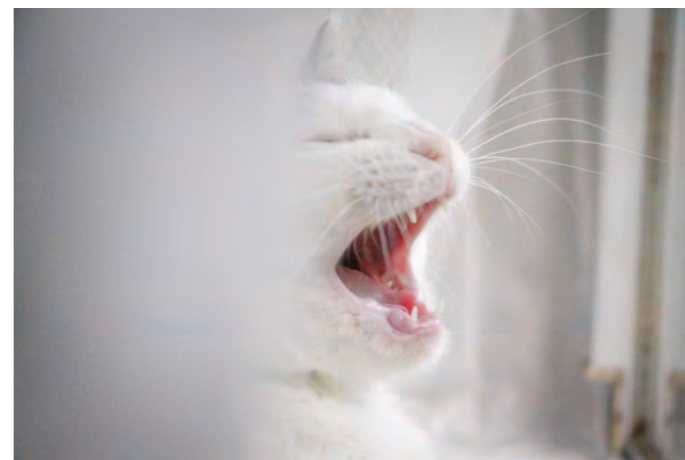




8

いつもとちがうのには
かならず理由があるんだ。
痛かったり、苦しかったり...。

だから、あなたには
いつも見まもってほしいんだ。
だって、ボクのことをちゃんと
かんがえることができるのは
あなただけだもん。





9

ボクは、あなたよりもはやく
年をとって、だんだん
元気がなくなって
しまうかもしれない。

でも、おじいちゃんになった
ボクをみすてないで！
おねがいだから、ボクが「虹の橋」に
いくまでは、ずっと世話をしてね。

「虹の橋」のおはなし

大切な人と別れた動物たちは、天国の少し手前にあるといわれる「虹の橋」のたもとにやってきます。そして、そこで若さと健康を取り戻して元気に暮らします。ただ、大切な人がいないという“さみしさ”だけではなくならないのです。そして、彼らはいつまでもずっと待っています。さみしさを抱えながら、いつか、大切な人が自分に会いにやってくるそのときを。そしてあるとき、彼らは大切な人と再開します。すると、みるみるうちにさみしさが幸せへと代わり、大切な人と一緒に虹の橋を渡って天国へと旅立つのです。

10

さいごのやくそくだよ。

わか
お別れ

ボクをギュッと抱きしめて。

そして、ボクのこと、わす
忘れないでね。

ボクは、あなたを、ぜったい、ぜったいわす
忘れない。

だって、いつまでも、う
生まれかわっても

あなたのことが、だいす
大好きだから。

.....ありがとう。





あなたは、ボクに「しつけ」という
たくさんのやくそくを求めてくるよね。
ときには、たくさんありすぎてツライときもあるよ。
でも、大丈夫。
ボク、がんばるんだ。
ずっと、あなたの家族でいたいから。
だから、ね、おねがいだよ。
ずっとずっと愛してほしい。
いっぱいお話しして、ときには、ギュ〜ッてしてほしい。
あなたのそばで、あなたを感じて、あなただけを見てる。
ボクは、ここに、いるよ。



Here I am.



ボクは、ここに、いるよ。



見捨^{みす}てないで
いじめ^いめないで
普通^{ふつう}に愛^{あい}して



堀 雅之 (ほり まさゆき) Hori Masayuki
グラフィックデザイナー/フォトグラファー



- 愛玩動物飼養管理士
- ペットフード販売士
- ペットフード安全管理者

東京都多摩市に妻と2匹の猫たちとともに暮らしています。

広告や雑誌などの制作全般を手がけるとともに、フォトグラファーとしても意欲的に活動。野性味あふれる鳥獵犬の撮影のほか、出張撮影サービス「出前写真館」において、ペット撮影やシニアの方のポートレート撮影を行っています。

また、2022年4月に地元多摩市にて写真展「風の犬たち」を開催。その際に聞かれた「1回だけじゃもったいない!」という声をチカラに、その後、各地で継続開催しています。

さらに、風の犬たちの活動の一環として、中軽井沢駅前で定期的なマルシェへの出店をはじめ、長野、群馬、千葉、東京など各地のマルシェに出店しています。趣味は時速4kmの歩き旅、登山、キャンプ、溪流釣りといったアウトドア遊びのほか、バドミントンやウクレレ。



e-mail



facebook



instagram

もう一度、いわせてください。

動物たちが、わたしたちに求めていることなんて
わたしたち人間が、彼らに求めることに比べたら
ほんのわずかです。



写真展「風の犬たち」では、自然のなかを風のように走る犬たちの野性味と躍動感、自由の欲びと溢れる生命力を伝えています。展示写真の犬のなかには、理不尽な理由で飼い主に見捨てられ、悲惨な暮らしを強いられたあと、たくさんの人の愛情によって、再び“風の犬”として自由に走っている犬もいます。

私たちは『ボクは、ここに、いるよ。』のコンセプトワードのもと、動物とともに暮らすための大切な心得を社会に浸透させ、動物たちの幸せにつなげることが自分たちのミッションだと考えています。

友として、相棒として、そして家族として、かけがえのない存在である動物たちの幸せのために、みなさんのチカラを少しだけ分けてもらえたら、こんなに心強いことはありません。

どうか、動物たちを“正しく”愛してあげてください。

風のように駆け、風よりも自由な疾走犬の写真展

